

7. 患者の理解を確認し一方的説明にならぬように配慮した

患者の理解のテンポに合わせて話が進められ、途中で患者が理解できているかを確認し、分らないことや気になることがあれば疑問や意見を患者が述べられるように配慮して、一方的な説明にならないように気をつけていれば1点。不十分であれば0点。

8. (最後に) 質問や言い忘れたことがないか尋ねた

尋ねていれば1点。尋ねていなければ0点。

【禁煙支援のコンテンツ】

9. 緊張している患者のアイスブレイクができた

禁煙外来に来て叱られたりするのはと緊張している患者に対して、冒頭から喫煙を否定したり説教したりするのはではなく、禁煙外来への受診をねぎらい、患者の思いを肯定的に受容することで患者の心の鎧をうまく取り外せていれば1点。できていなければ0点。

10. 病気や喫煙、禁煙に対する患者の思いを傾聴した

今の病状や今後についてどう思っているか、喫煙や禁煙についての思いと今までの禁煙に対する取り組み、患者の思いや希望、気持ちなどを十分に傾聴できていれば1点。できていなければ0点

11. 喫煙歴やニコチン依存の度合いについて評価した

現在の喫煙状況や喫煙歴、ニコチン依存の度合いについて評価し、タバコ指数について患者に説明できていれば2点。不十分なら1点。まったく出来てなければ0点。

12. 喫煙と病気、禁煙の必要性等を分りやすく説明した

喫煙とASOや他の病気との関係と禁煙の必要性、また心理的依存・薬物依存を同時に断つことの困難性等について十分にわかりやすく説明出来ていれば2点。ある程度出来ていれば1点。出来てなければ0点。

13. 患者の思いや希望と医学的な見解との一致点や相違点を明確にし要約して相互に確認しあった

患者の思いや希望と医学的な見解との一致点や相違点を明らかにし、共同作業の出発点としてまずは同じ土俵に立ったことの相互確認がうまくできていれば1点。出来ていなければ0点。

14. 今までの禁煙の試みをねぎらい、低下した自己効力感を上げるような働きかけを行った

これまでの禁煙の試みをねぎらい、低下した自己効力感を上げるような働きかけ（やる気になるよう前向き気分にする）、（成功した人の例を示す）、（今までの失敗はやり方がまずかったので能力はあるんだ）、（今までの失敗もけっしてゼロではない）、（あなたなら出来る）のうち2項目以上を行っていれば2点。1項目なら1点。出来てなければ0点。

15. 一致や相違を踏まえたうえで最適と思われるプランを勧めた

患者の思いや希望と医学的な見解との一致点や相違点を踏まえたうえで患者にとって最適と思われるプランをこちらから勧める。うまくできていれば1点。出来ていなければ0点。

16. ニコチン補助療法や行動療法について助言した

ニコチン補助療法や行動療法的な禁煙補助方法（自己記録をつける）、（成功すれば報酬がでる）、（家中からライターや灰皿を一掃する）、（吸いたくなったら冷水を飲んだり飴やガムを使う）、（すすめられたタバコを断る練習をする）、（禁煙する目的を明記しておく）等について助言する。これらのうち2項目以上を行っていれば2点。1項目なら1点。出来てなければ0点。

17. 具体的に今後の取り組みについて患者と話し合った

取り組むべきゴールについて、具体的に、いつまで、何をするかについてしっかり患者と話し合えていれば1点。出来ていなければ0点。

18. 具体的な目標設定をする際に患者の参加を促した

具体的な今後の目標設定を決定する際に医師が一方的に指示するのではなく、患者自身に目標をあげさせたり、複数の候補の中から患者に選ばせるなどして、患者の参加を促していれば1点。出来ていなければ0点。

【概略評価】

この医療面接全体の印象を6段階で評価して、番号に丸をつける。

## ステーション11 ガウンテクニック・縫合

患者：佐藤 太郎 22歳 男性

「前腕部を1.5cmほど横切し、軽度の出血がある」

手洗いをしてガウン、手袋を装着し、模擬患者の前腕に装着したスキン・シュミレータの切創を1針縫合した後に抜糸しなさい。

滅菌トレイに持針器、3-0 絹糸、2種類の針（丸針、角針）、2種類の鑷子（有鉤鑷子、無鉤鑷子）、消毒薬のついた綿球が置かれている。  
（創部の麻酔、消毒は済んでいる。）

このステーション全体の制限時間は15分間です。

	2	1	0
<b>【準備】</b>			
1. 白衣（長袖シャツ）を肘上まで袖をまくる（術衣を着ている場合は省略する）	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
2. 手術用帽子を着用する	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
3. 手術用マスクを着用する	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<b>【手洗い】</b>			
4. 手指、前腕を流水で洗い流す		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 消毒液で手揉み洗いする *	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. ブラシを用い摩擦洗浄を行う *	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. すすぎ液で洗い流す	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 滅菌タオルで拭く	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>【滅菌ガウンの装着】（綿布ガウンの場合）</b>			
9. 滅菌ガウンを胸の前で広げる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 介助者に肩紐を持ってもらい同側の手を袖に通す	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 介助者の介助で紐を結びガウンで全身を被う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>【手袋の装着】</b>			
12. 右手で左手袋の折り返し部分（手袋の裏面）を持ち、左手に装着する（左右逆も可）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 左手の4本指を右手袋の折り返し部分（手袋の表面）に入れて取り上げ、右手に装着する（左右逆も可）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 手袋でガウンの袖口を全て被う		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 手袋を手フィットさせる		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>【縫合】</b>			
16. 患者への声かけを行う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 持針器に針を装着する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 針に糸を装着する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19. 鑷子を使用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20. 針を刺入する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21. 針を抜去する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22. 結紮を行う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23. 糸を切る		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>【抜糸】</b>			
24. 消毒する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25. 抜糸する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
合計点 46点満点			点

← 良 い | 良くない →

【概略評価】 6 5 4 | 3 2 1

(この医療面接全体の印象を6段階で評価して番号に丸をつける)

\*：各大学での指導法が異なるので5、6のいずれかが行えれば良い

## 手術手技評価マニュアル

### 【準備】

1. 白衣（長袖シャツ）を肘上まで袖をまくる（術衣を着ている場合は省略する）  
衣類及び白衣の袖を完全に肘上までまくれば2点。  
それが出来なければ（まくれても不完全で、途中で衣類が下がって来そうな状態も含まれる）0点。
2. 手術用帽子を着用する  
手術用帽子で頭髪が露出せず完全に覆えれば2点。  
それが出来なければ（頭髪が帽子外に垂れているなども含まれる）0点。
3. 手術用マスクを着用する  
手術用マスクで口、鼻、顎を完全に覆えれば2点。  
それが出来なければ（マスクの締め方が不完全で途中で外れそうな状態も含まれる）0点。

### 【手洗い】

4. 手指、前腕を流水で洗い流す  
手指、前腕を中枢側へ流れるように流水で洗い流せれば1点。  
それが出来なければ0点。
5. 消毒液で手揉み洗いする  
手洗い用消毒液を使って手指（手掌、指、指間、指先）から肘部まで手揉み洗い出来れば2点。  
手揉み洗いは実施するが、指間、指先など洗浄部位が抜けていたり、不十分な手揉み洗い（30秒未満で時間が短すぎるなど）ならば1点。  
手揉み洗いを実施しなければ0点。
6. ブラシを用い摩擦洗浄を行う  
ブラシで手洗い用消毒液を用いて摩擦洗浄を左右交互に手指、前腕末梢1/2、前腕中枢側から肘部の3部に分けて出来れば2点。  
洗浄部位が抜けていたり、不十分な摩擦洗浄（3分未満で時間が短すぎるなど）ならば1点。  
摩擦洗浄を実施しなければ0点。
7. すすぎ液で洗い流す  
すすぎ液が中枢側へ流れるように流水で洗い流せれば2点。  
流水による洗い流しをするが、すすぎ液が末梢側に流れれば1点。  
流水による洗い流しを実施しなければ0点。

8. 滅菌タオルで拭く

滅菌タオルで指先から中枢側へ拭ければ2点。

滅菌タオルでの拭く順序が間違っていたり、水滴が末梢側へ流れれば1点。

滅菌タオルを用いて拭けなければ0点。

【滅菌ガウンの装着】

9. 滅菌ガウンを胸の前で広げる

手及びガウンを汚染しないで出来れば2点。

どちらかを汚染すれば1点。

両方汚染すれば0点。

10. 介助者に肩紐を持ってもらい同側の手を袖に通す

手及びガウンを汚染しないで出来れば2点。

どちらかを汚染すれば1点。

両方汚染すれば0点。

11. 介助者の介助で紐を結びガウンで全身を被う

手及びガウンを汚染しないで出来れば2点。

どちらかを汚染すれば1点。

両方汚染すれば0点。

【手袋の装着】

12. 右手で左手袋の折り返し部分（手袋の裏面）を持ち、左手に装着する（左右逆も可）

無菌的にスムーズに行えれば2点。

無菌的ではあるが装着に手間取ったり、左手の装着が不十分ならば1点。

不潔になれば0点。

13. 左手の4本指を右手袋の折り返し部分（手袋の表面）に入れて取り上げ、右手に装着する（左右逆も可）

無菌的にスムーズに行えれば2点。

無菌的ではあるが装着に手間取ったり、右手の装着が不十分ならば1点。

不潔になれば0点。

14. 手袋でガウンの袖口を全て被う（左右逆も可）

右手で左手袋の折り返しを伸ばし、手袋でガウンの袖口を覆えば1点。

覆わなければ0点。

15. 手袋を手にフィットさせる

指部分のねじれ等を取り手袋を手に十分にフィットできれば1点。

それが出来なければ0点。

【縫合】

16. 患者への声かけを行う

処置の開始・終了時と処置中に声かけができれば2点。

どちらか一方ならば1点。

声かけが出来なければ0点。

17. 持針器に針を装着する

強湾の角針を選択し、針の先端から3/4程度の部分を針先が向かって左側（右利きの場合）にくるように持てば2点。

どちらか一方なら1点。

どちらも出来なければ0点。

18. 針に糸を装着する

スムーズに絹糸を針穴に通し、2～4cmの折り返しをとれば2点。

折り返しが長すぎたり（5cm以上）、短すぎたり（1cm以下）、糸通しに手間取れば1点。

糸を通せなければ0点。

19. 鑷子を使用する

有鉤鑷子を左手の母指、示指、中指でその基軸を手背に向かわせるように把持し、創縁を軽く持ち上げるなど縫合の補助に利用できれば2点。

どちらか一方なら1点。

どちらも出来なければ0点。

20. 針を刺入する

針を創縁から針の半径よりやや短い距離で創縁及び皮膚に直角に刺入し、針の湾曲に沿って死腔を残さないように針先を進めれば2点。

どちらか一方なら1点。

どちらも出来なければ0点。

21. 針を抜去する

刺入部と対称になるように針先を出し、針先を損傷しないように持針器で把持し針を抜去すれば2点。

どちらか一方なら1点。

どちらも出来なければ0点。

22. 結紮を行う

スムーズにこま結び、又は外科結びができれば2点。

立ち結び或いは結紮に手間取れば1点。

自己流又はほどけていれば0点。

### 23. 糸を切る

結び目から5～10mmの長さで切れば1点。

短すぎたり、長すぎれば0点。

### 【抜糸】

#### 24. 消毒する

清潔な無鉤鑷子を用いて消毒薬のついた綿球で創周囲の皮膚を中心から同心円状に外側へ向けて2回以上消毒すれば2点。

無鉤鑷子は利用するが外側に向かわないか、1回のみ時は1点。

消毒をしないなど無鉤鑷子が利用できなければ0点。

#### 25. 抜糸する

リングに第1指と第4指を挿入し、第2指を軽く曲げて柄に添えて鉗を把持し、有鉤鑷子で糸の断端を把持して皮下に埋没していた糸を露出させてその部分を鉗で切れば2点。

鉗の把持、糸を露出させての糸切りのどちらか一方なら1点。

どちらも出来なければ0点。

## ステーション12

患者：黒樫 健 67歳 男性

あなたは今日から担当することになった患者さんに会うため病室を訪れたところです。ところが隣のベッドに寝ていた、あなたの担当ではない患者さんがあなたに気分が悪いと訴えはじめました。

- ・ 緊急度の高い患者さんです。必要と考えられる最小限の身体診察を行いなさい。身体診察は手技を行った上で「〇〇の所見は」と言えば評価者が所見を伝えます。
- ・ 次に枕元のナースコールで病棟職員に必要事項を依頼しなさい。評価者が病棟職員として応答します。(ここまでで約5分間)
- ・ さらに評価者から伝えられる状況設定や駆けつけた模擬医師の指示に従い、到着した器具を用いて、人形（シミュレーター）に対して適切な処置を行いなさい。(約10分間)

このステーション全体の制限時間は15分間です。経過時間は口頭で知らせます。各課題のおおよその時間配分は上記のとおりですが各自変更は可能です。

〈事例設定〉一（救命処置）一

黒樫 健 67歳 男性、無職

※緊急度が高い設定なので基本的に医療面接による情報収集については評価しないが、模擬患者の演技の参考のために詳細なシナリオを作成した。

◇場面設定

先月半ばから左胸部にたまに階段昇降時の疼痛発作を自覚していた。先週半ばに当院を受診し検査、治療のため入院となった。先ほど散歩中に動悸が出現し、自室で臥床し安静にしていたが、体がだるくなり、気分不良や冷や汗も出現。呼吸も少し荒くなっている。（自分ではわからないが顔色も悪い）たまたま同室の隣の患者を回診中の医師に相談する場面。

◇患者の気持ち

動悸の出現と新たに現れてきた症状がだんだんひどくなってくるので不安に思っている。気分が悪く、多くを話す余裕もない。

◇現病歴

1. 何もさえぎられない時に自ら話す内容

気分が悪いんです。（話が途切れたら訴えかける）

2. 医師から尋ねられたら話す内容

いつから動悸を感じるようになったのか？ = 20分くらい前散歩中から急に

胸痛はいつごろからのことか？ = 先月半ばくらいから

どのあたりが痛いのか？ = 左の胸から肩にかけて走るように（左手で示す）

どのような感じに痛いのか？ = ズーンと踏みつけられるように痛い

急に起こったのか？ = 急に起こった

ひどく痛むのか？ = これまでで一番ひどい。動けない。怖い。

どのくらいの時間、痛むのか？ = たいがいは2～3分で治まるが、今日は20分くらい続いている

何かすると痛むといったことは？ = いつもは階段を昇ったりすると起こっていたのですが…

痛いときにこうすると治るといったことは？ = いつもは休んでいるとよくなるのに、今日は横になっても治らないし…

ほかにいつもと違うことは？ = 胸がドキドキするし、寒いです。

注）これら以外については、「あまりわかりません」という旨の答を言う。

◇既往歴

1. 過去に経験した病気、怪我、入院、手術など = とくに問題ない

2. その他の情報 = 特別な設定は不要

◇家族歴

両親とも健在、特別な設定は不要

◇その他の設定

荒い呼吸。ときどき息をつきながら、苦しそうな表情と声で訴える

◇医師の質問に対する対応上の注意点

1. 「ほかに何か症状はありませんでしたか？」などと漠然と質問された場合

⇒「特に思い当たりません」と答える。

2. 具体的な症状を一度に複数質問された場合

⇒聞かれたものすべてに答える。

(例) Dr 「むくみや吐き気はありませんか？」

SP 「むくみは感じません、吐き気もありません」

3. 話が進まなくなり、「言い忘れたことは？」と聞かれた場合

⇒患者の気持ち等、話していないことが多くても「特にありません」と答える。

4. 台本にない内容のことを質問された場合

⇒「特に問題ない」「覚えていない」あるいは自分のこと（例えば食べ物の好みなど）を述べる。プライベートなことと言いたくないことは言わない。ただし、そのことは、どの受験者に対しても言わない（対応に一貫性を持たせる）。

⇒質問が多い場合には「つらいです」を連呼し、緊急感を出す。

きつくてあまり話す余力もない。

## 【患者への配慮】

- |                 | 2                        | 1                        | 0                        |
|-----------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 適切な言葉づかい     |                          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 苦痛や不安の訴えへの対応 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

## 【診察手技】

●（ ）内は評価者が答える

- |                         |  |                          |                          |
|-------------------------|--|--------------------------|--------------------------|
| 3. 顔色（蒼白、苦しそうな表情）       |  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. 皮膚（冷たく、汗ばんでいる）       |  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. 呼吸数、性状（20数回／分、荒い）    |  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 6. 脈拍数、性状（150回程度、極めて微弱） |  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

## 【心停止に陥る可能性のある症状の患者への処置】

- |  |                          |                          |                          |
|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 7. ナースコールを使って病棟職員に連絡                             |                          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ●連絡しなければ評価者が促す                                   |                          |                          |                          |
| ●評価者が模擬病棟職員として対応「どうされました？」                       |                          |                          |                          |
| 8. 患者の状態を手短に伝えたか                                 |                          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 9. 応援を依頼したか                                      |                          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 10. 機材（酸素、血圧計、心電図モニター、パルスオキシメータ、<br>輸液など*）を依頼したか | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

\* 依頼する機材については要検討

合計点 12点満点

点

← 良 い | 良くない →

【概略評価】 6 5 4 | 3 2 1

(この手技全体の印象を6段階で評価して番号に丸をつける)

## 救命処置評価表（1）評価マニュアル

### 【患者への配慮】

#### 1. 適切な言葉づかい

常識的で失礼のない言葉づかいであれば1点。

#### 2. 苦痛や不安の訴えへの対応

診察中の動悸などの訴えに対し全く無言で応答がなければ0点。頻繁に声かけや説明を繰り返していけば2点。声かけや説明はあるが、応答がない場合があったり雑だったりした場合は1点。

### 【診察、処置】

#### 3. ～6. 顔色、皮膚、呼吸、脈拍

4項目すべて「〇〇を診ます」「〇〇は？」と言えれば1点。所見は評価者が答える。他の身体所見をとろうとする場合は、評価者がナースコールを使って病棟職員に連絡するように指示する。

#### 7. ナースコールを使って病棟職員に連絡

連絡すれば1点。（連絡しなければ評価者が促す。連絡した場合は評価者が模擬病棟職員として「どうされました？」などに対応する。）

#### 8. 患者の状態を手短に伝えた

ナースコールに出た病棟職員に患者の状態を手短に伝えれば1点。不必要に時間を浪費したら0点。

#### 9. 応援を依頼

他の医師または看護師を呼んでもらうよう依頼すれば1点。

#### 10. 機材を依頼

酸素が言えれば1点。その他、血圧計、心電図モニター、除細動器、パルスオキシメータ、輸液などの機材のうち、2つ以上言えたら1点加点する。「緊急カート」と受験者が言ったら「何が載っていますか」と尋ね、内容により上記の通り加点する。（依頼する機材種については施設により配備状況が異なる場合もあるので、事前に受験者に周知するなどの配慮が必要と考えられる。）

	2	1	0
<b>【心停止への一次救命処置】</b>			
●模擬患者は沈黙。評価者は受験者に意識を消失したかもしれないことを告げ、シミュレーターに対して処置を続けるよう促す。			
<b>【意識の確認】</b>			
1. 意識確認の声かけ		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 意識確認の刺激(肩叩き、揺さぶり)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 顔を叩くまたは頸椎が大きく動揺する揺さぶりはあるか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>【応援・機材の依頼】</b>			
4. 病棟職員に患者の状態を手短に伝えたか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 病棟職員に応援を頼んだか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 病棟職員に機材を頼んだか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>【気道確保と呼吸の確認】</b>			
7. 頭部後屈あご先拳上法による気道確保をおこなったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 下顎の軟部組織を圧迫していないか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 見て、聴いて、感じて呼吸を確認したか(姿勢、口述)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 気道確保を保持したか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 呼吸確認は10秒以内で終了したか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>【呼気吹き込み】</b>			
12. フェイスマスクまたはフェイスシールドを装着したか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 気道確保は適切か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 呼気を2回吹き込んだか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 人形の鼻をつまんだか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 胸郭は拳上したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 過剰な吹き込みはなかったか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 胸郭の拳上を目視確認していたか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>【循環のサインと脈拍の確認】</b>			
19. 循環のサインの確認		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20. 総頸動脈の脈拍確認		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21. 循環のサインと脈拍の確認は10秒以内で終了したか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>【心臓マッサージ】</b>			
22. 意識確認から心臓マッサージまで迅速にできたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23. 心臓マッサージの姿勢は適切か		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24. 心臓マッサージの手の位置は適切か		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25. 心臓マッサージの手の置き方、組み方は適切か		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26. 心臓マッサージの深さ、強さは適切か		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27. 心臓マッサージのリズムは100回/分前後か		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28. 心臓マッサージと呼気吹き込みの回数比は15:2か		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

合計点 32点満点

点

← 良 い | 良くない →

【概略評価】 6 5 4 | 3 2 1

(この手技全体の印象を6段階で評価して番号に丸をつける)

## 救命処置評価表（2）評価マニュアル

### 【心停止への一次救命処置】

- 模擬患者は沈黙。評価者は受験者に心停止に移行したかもしれないことを告げ、シミュレーターに対して処置を続けるよう促す。

### 【意識の確認】

#### 1. 意識確認の声かけ

「もしもし」「大丈夫ですか？」などの声かけがあれば1点。

#### 2. 意識確認の刺激（肩叩き、揺さぶり）

肩を軽く叩くまたは揺すれば1点。

#### 3. 顔を叩くまたは頸椎が大きく動揺する揺さぶりはないか

顔を叩いたり頸椎が大きく動くように揺すったりしたら0点。そうでなければ1点。

### 【応援・機材の依頼】（4～6は後で思い出してできた場合も点数を与える）

#### 4. 病棟職員に患者の状態を手短に伝えたか

「患者さんの意識が消失した」など患者の状態をひと言で伝えれば1点。不必要に時間を浪費したら0点。

#### 5. 病棟職員に応援を頼んだか

できるだけたくさんの人（医師、看護師）を集めること（院内救急コールでも可）を頼めば1点。

#### 6. 病棟職員に機材を頼んだか

モニター付き除細動器（またはAED；自動体外式除細動器）が言えれば1点、救急カート、背板などの機材を持ってくることを頼めば1点加点する。「救急カート」と言って「モニター付き除細動器（またはAED）」を受験者が言わない場合、「救急カートには何が載っていますか」と尋ね「モニター付き除細動器（またはAED）」が載っていれば1点。（依頼する機材種については施設により配備状況が異なる場合もあるので、事前に受験者に周知するなどの配慮が必要と考えられる。）

### 【気道確保と呼吸の確認】

#### 7. 頭部後屈あご先挙上法による気道確保をおこなったか

頭部後屈あご先挙上法で気道を確保すれば2点。項部を持ち上げたら1点。気道確保を行わない場合0点。

#### 8. 下顎の軟部組織を圧迫していないか

あご先挙上が骨部を指先で支えていれば1点。指や掌で軟部組織を圧迫していれば0点。

9. 見て、聴いて、感じて呼吸を確認したか（姿勢、口述）

胸郭の挙上を「見て」、耳で呼吸音を「聴いて」、頬で呼気を「感じて」呼吸を確認する姿勢が取れていれば1点。黙って行っている場合は、「何の所見を見ているのですか」と質問し、上記が回答できれば可。

10. 気道確保を保持したか

額に手を当てているだけで後屈していない、あるいはあご先を挙上していない場合は0点。

11. 呼吸確認は10秒以内で終了したか

10秒以内であれば1点。10秒を超えている場合は0点。カウントの口述はあってもなくてもよい。

【呼気吹き込み】（12～19は以後の呼気吹き込みの際にそれぞれ半分以上の頻度でできていなければ0点とする）

12. フェイスマスクまたはフェイスシールドを装着したか

あらかじめ使うように促しておく。装着しなければ0点。

13. 気道確保は適切か

気道確保の姿勢を保っていれば2点。手技が不完全であれば1点。気道確保を行わない場合0点。

14. 呼気を2回吹き込んだか

2回吹き込めば1点。

15. 人形の鼻をつまんだか

頭部を後屈している手の指で人形の鼻をつまんでいたら1点。

16. 胸郭は挙上したか

人形の胸郭が挙上したら2点。

挙上しない場合：気道確保や開口の仕方を受験者自身が修正して息吹き込みを行い挙上する場合は1点とする。修正しないで次に進む場合は0点。修正しても挙上しない場合は5回まで連続して吹き込みを許可し、1度も挙上しなければ0点。

17. 過剰な吹き込みはなかったか\*

胃に吹き込まれるほど過剰な吹き込みあるいは急激な吹き込みがあれば0点。胸郭が軽く挙上する程度であれば1点。

18. 胸郭の挙上を目視確認していたか  
目視確認があれば1点。なければ0点。

【循環のサインと脈拍の確認】

19. 循環のサインの確認

頭部後屈あるいはあご先挙上を保った呼吸確認の姿勢で、呼気吹き込みによる咳き込み（「咳」）、正常な自発呼吸の再開（「息」）を確認し、次に顔を上げて四肢を見渡し体動がないかどうか（「動き」）を確認すれば、循環のサインが確認できたとして1点。咳、息の確認の際に頭部が呼吸確認の時と同じ姿勢になっていなければ0点。動きの確認の際に口述だけで四肢を見渡していなければ0点。動作だけで口述しない場合は評価者が「何を見たのですか？」と質問し、動作と合致すれば1点。

20. 総頸動脈の脈拍確認\*

循環のサインの確認動作と同時に頭部後屈を保持していない方の手指で総頸動脈の脈拍を確認していれば1点。循環のサインと脈拍の確認が同時でなく、循環のサインの確認の後に脈拍の確認をしている場合も減点しない。

21. 循環のサインと脈拍の確認は10秒以内で終了したか

5-10秒以内であれば2点。5秒未満、10秒を超えている場合は1点。カウントの口述はあってもなくてもよい。しない場合は0点。

※前胸部叩打はしてもしなくても加点も減点もしない。

【心臓マッサージ】（23～27は以後の心臓マッサージの際にそれぞれ半分以上の頻度でできていなければ0点とする）

22. 意識確認から心臓マッサージまでは迅速にできたか

意識確認の声かけまたは肩たたきより心臓マッサージ開始まで40秒以内なら2点。40秒を超えて60秒以内なら1点。60秒を超えたら0点。

23. 心臓マッサージの姿勢は適切か

人形の足方向または頭方向から見て手掌基部から肩までが一直線で垂直で、受験者の正面から見て両肘または片肘が屈曲せずに肩から手掌基部までまっすぐ力を伝えていれば1点。足方向または頭方向から見て斜めに押していたり、毎回両肘が屈曲して肘から先の力で押していたりしていれば0点。

24. 心臓マッサージの手の位置は適切か\*

長軸方向：手の置き方として、足側の手の中指先で肋骨弓を手前から正中にたどり、胸骨に当たったところで人差し指を中指の隣、胸骨の上に乗せ、人差し指の隣に頭側の手の手掌基部をあて、心窩部が圧迫されないやり方で手の位置決めを行っていれば1点。以後換気から心臓

マッサージに切り替えるごとに行っていない場合は0点。

短軸方向：胸骨正中部を押していれば1点。左右に偏っていれば0点。

25. 心臓マッサージの手の置き方、組み方は適切か

胸骨に置いた手の手掌基部と胸骨の長軸方向が平行になるように手を置いていけば1点。長軸方向がずれるように置いていけば0点。圧迫のたびに手掌基部が胸郭から離れるような押し方では0点。両手の組み方は特定しないが、繰り返す間に両手の位置がずれるようであれば0点。

26. 心臓マッサージの深さ、強さは適切か\*

3.5～5 cmであれば1点。浅すぎたり深すぎたりする場合は0点。

27. 心臓マッサージのリズムは100回／分前後か\*

毎分90回以上～110回以下であれば1点。これから外れる場合は0点。リズムが著しく一定でない場合も0点。

28. 心臓マッサージと呼気吹き込みの回数比は15：2か

心臓マッサージを黙って行っている場合はカウントを促す。いずれも実施回数が多少異なっても（心臓マッサージの回数は13回～17回まで可とする）15：2を知っていれば1点とする。

※これらの項目を自動測定できるシミュレーターによる客観的評価を用いることが望ましい。

	評価者氏名		
	2	1	0
<b>【医療者到着後：蘇生チームメンバーとしての手技】</b>			
●到着した模擬医師が「どうしたんですか？」と問いかける			
1. 到着した医療者に患者の状況を伝えたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●模擬医師が「心臓マッサージを交代するからバッグバルブマスクを組み立ててマスク換気をして」と指示する			
2. 心臓マッサージを途切れないように交代したか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 処置の指示を復唱したか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>【バッグバルブマスクを用いたマスク換気】</b>			
4. バッグバルブマスクを適切に組み立てて動作確認をしたか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 気道の確保の方法は適切か（下顎挙上または頭部後屈）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. マスクやバッグの保持は適切か（片手によるマスク保持が困難である場合は顎先でマスクを保持または二人法で）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 換気の時間は適切か		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 換気の量は適切か		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 胸郭の上下動とバッグを押したときの抵抗により換気の評価をしたか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 酸素が送られていることを確認したか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●模擬医師が「背板を入れるので頸部を保護して持ち上げる合図をして」と指示する			
11. 背板挿入の際の頸部の保護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●模擬医師が「AEDが到着したから装着してスイッチを入れて」と指示する			
12. 自動体外式除細動器（AED）の装着は適切か		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 酸素を遠ざける		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 目視による安全確認		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. AEDの放電操作は迅速だったか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
合計点 17点満点			点

← 良 い | 良くない →  
**【概略評価】** 6 5 4 | 3 2 1

（この手技全体の印象を6段階で評価して番号に丸をつける）

## 救命処置評価表（3）評価マニュアル

### 【医療者到着後：蘇生チームメンバーとしての手技】

#### ●到着した模擬医師が「どうしたんですか？」と問いかける

##### 1. 到着した医師に患者の状況を伝えたか

「心停止です」が伝えられれば1点。「目の前で」の追加情報があれば1点加点。

#### ●模擬医師が「心臓マッサージを交代するからマスク換気をして」と指示して心臓マッサージをしている受験者に近づく

##### 2. 心臓マッサージを途切れないように交代したか

心臓マッサージが途切れないように配慮して交代できれば1点。配慮がなく医師の登場ですぐ心臓マッサージを中止するようであれば0点。

##### 3. 処置の指示を復唱したか

「心臓マッサージを交代します」「マスク換気をします」などの復唱がどちらかあれば1点。全く復唱がなければ0点。

### 【バッグバルブマスクを用いたマスク換気】

##### 4. バッグバルブマスクを適切に組み立てて動作確認をしたか

バッグ、バルブ、マスクがバラバラにケースに入っているものを組み立て、マスクをつける前にエアの流出口を掌で塞いでバッグを押し、漏れがないことを確認（作動確認）ができれば1点。

##### 5. 気道の確保の方法は適切か（下顎挙上と頭部後屈の併用）

下顎挙上と頭部後屈の併用法で気道を確保すれば1点（試験に使用するシミュレーターは下顎挙上法が困難でないものが望ましい）

##### 6. マスクやバッグの保持は適切か（片手によるマスク保持が困難である場合は顎先でマスクを保持または二人法で）

下顎を片手の第3・4・5指で支え、第1・2指でマスクを保持する。マスクを片手で保持するのが困難である受験者は自分の顎でマスクを押さえても、二人法で行うことを申し出てもよい。いずれにしても、換気時に漏れがなければ1点。漏れがあれば0点。

##### 7. 換気の時間は適切か

1回当たり2秒前後であれば1点。換気2回で4秒未満であれば0点。

##### 8. 換気の1回量は適切か\*

おおむねバッグの3分の1程度を押ししていれば1点。バッグを半分以上押しつぶしているようであれば0点。